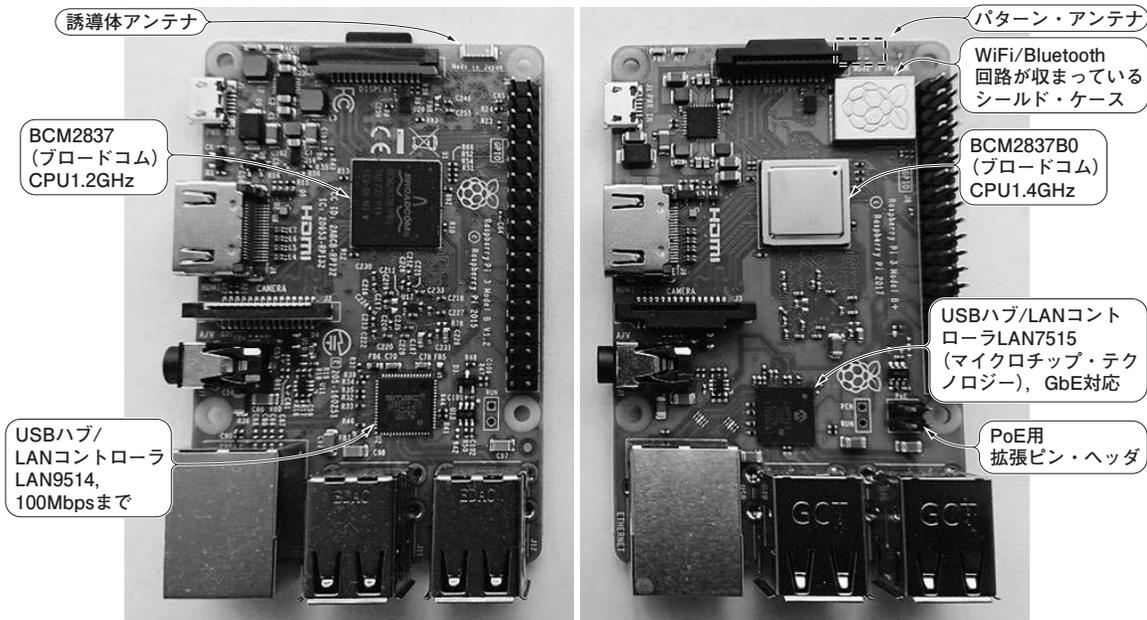


注目の最新シングル・ボード・コンピュータをベンチマーク・テスト
[西]ラズベリー・パイ3モデルB+(2018年3月)
 VS
[東]ASUS Tinker Board S(2018年2月)

吉田 紹一/漆谷 正義/エンヤ ヒロカズ
 Shoichi Yoshida/Masayoshi Urushidani/Hirokazu Enya



(a) 旧モデルRaspberry Pi 3 モデルB

(b) 新モデルRaspberry Pi 3 モデルB+

写真1 ラズベリー・パイ3モデルBと新型の3モデルB+

2018年πの日(3月14日)に発表された。外部コネクタの位置は変わらず、主要部品の位置も同じ

ラズベリー・パイの新型、ラズベリー・パイ3モデルB+(写真1)が3月に発表されました。国内発売はまもなくです。CPUやGPUの性能向上は大きくないものの、有線LANの速度は3倍、無線LANの速度は2倍(5GHzを使った場合)になっています。

ラズベリー・パイとよく似たシングル・ボード・コンピュータもたくさん発売されています。中でもコネクタ配置の互換性が高いのは、ASUS(エイセス)から発売されているTinker Boardです。今年発売されたTinker Board S(写真2)は、フラッシュ・メモリ(eMMC)が搭載されSDカードが不要になりました。国内価格は1万円ほどでラズベリー・パイ3のおよそ倍ですが、CPU性能は1.5~2倍、GPU性能は4~6倍と高性能です。

本稿ではこれらのボードの特徴を紹介し、いろいろな方向から性能をチェックします。 **〈編集部〉**

最新モデル ラズベリー・パイ3B+

● ラズベリー・パイのファミリー

ラズベリー・パイのようなボードは、マイコン・ボードとは呼ばず、シングル・ボード・コンピュータ(SBC)やワンボード・コンピュータと言われ、PCに近いものと位置付けられています。

ラズベリー・パイは2013年にデビューしてから、多くのモデル・チェンジを繰り返しており、似たような製品が市場で流通しています。モデルBと付くものでも6種類あります。

- (1) ラズベリー・パイ モデルB(製造終了)
- (2) ラズベリー・パイ モデルB+
- (3) ラズベリー・パイ2モデルB(以下, RPi2B)
- (4) ラズベリー・パイ2モデルB V1.2

【セミナー案内】実習・FPGAを使ったビデオ・システムの開発/SDSoCプラットフォーム開発編(ZYNQ7000版も対応)——イメージ・センサ入力処理からモニタ出力処理までをワン・ストップで簡単キャッチ・アップ
 【講師】早乙女 勝昭氏、6/20(水) 29,000円(税込み) <http://seminar.cqpub.co.jp/>